

【講演内容要旨】

テーマ : ポリエーテル系潤滑油基剤とその周辺技術について

講師 : 勝川 吉隆 (三洋化成工業株式会社)

内容要旨 :

I. 当社の概要

II. 界面活性剤について

界面活性剤とは、「親水基と疎水基からなる、2物質間の界面の性質を著しく変化させることができる化合物」で、4つの種類に分類され、多岐に渡る分野で使用されている。

界面活性剤は、その分子構造により様々な性質を示し、「HLB、曇点、クラフト点」はその性質を表す重要な用語として挙げられる。種々用途で使用する界面活性剤を選定する際は、多数ある着眼点を総合的に解釈することが求められる。

III. 機械・金属加工用薬剤について

非イオン界面活性剤「ポリエーテル系潤滑油基剤」は、「高潤滑性、高粘度指数、低温流動性（結晶性）」であることを特長とする、「任意な分子設計」が可能な合成潤滑基剤であり、会合や吸着による様々な機能発現（潤滑、低泡、乳化、分散、防錆 など）が期待されるため、幅広い用途に使用されている。

研修会では、当社既存製品群を具体例に、分子構造と性能の関係をご説明する。

IV. AOA技術のトピックス

当社のAOA技術トピックスとして、「NP系代替の界面活性剤」、「末端1級OH-PPG」の既存技術について、また、現在検討中の「低泡かつ高潤滑なポリエーテル基剤」についてご紹介する。

V. まとめ

以上